

TOEFL Writing

科目責任者 坂 本 洋 子
学年・学期 1 学年・3 学期

I. 前 文

本講義では、英語圏の大学で求められる程度の英作文ができるようにすることを目標とする。オンライン英作文指導教材である Criterion を用いて、TOEFL の Writing Section で出題されるような一般的なテーマで英作文の演習を行い、節の構造や論理展開を学習する。また英作文で使われる表現や言い換え (Paraphrase) 等、論文を書く時の基礎を身に付けられるようにする。

II. 担当教員

坂 本 洋 子

III. 一般学習目標

英語圏の大学で求められる、論理的な英文が書けることを目的とする。

IV. 学修の到達目標

- 1) 英作文に必要な表現を学ぶ。
- 2) 節や Essay の構造を学ぶ。
- 3) 英作文の基本的な手順を学ぶ。
- 4) 論理的な Essay が書けるようになる。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1 : 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)

2 : ディスカッション, デイバート 3 : グループワーク 4 : 実習, フィールドワーク 5 : プレゼンテーション

6 : その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
1	11	16	水	4	オリエンテーション, Sentence Writing	坂 本 洋 子	4
2		30	水	3	Writing 1: "Reasons for Attending College" Writing		4
3	12	7	水	4	Writing 1: "Reasons for Attending College" Revise		4
4		14	水	4	Writing 2: "Why Study Abroad" Writing		4
5	1	4	水	4	Writing 2: "Why Study Abroad" Revise		4
6		11	水	4	Writing 3: "Group Member or Leader" Writing		4
7		18	水	4	Writing 3: "Group Member or Leader" Revise, まとめ		4

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

エッセイ (90%), 出席状況・態度 (10%) で総合的に成績を評価する。

VII. 教科書・参考図書・A V 資料

授業時に配布する。英和・和英辞書, シソーラスを持参のこと。

VIII. 質問への対応

基本的には随時受け付ける。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業時に随時フィードバックを行う。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

Essayの構成や論の展開を考える。

Essayの推敲や校正を行う。（所要時間の目安：シラバス別冊参照）

XII. コアカリ記号・番号

A-7-2